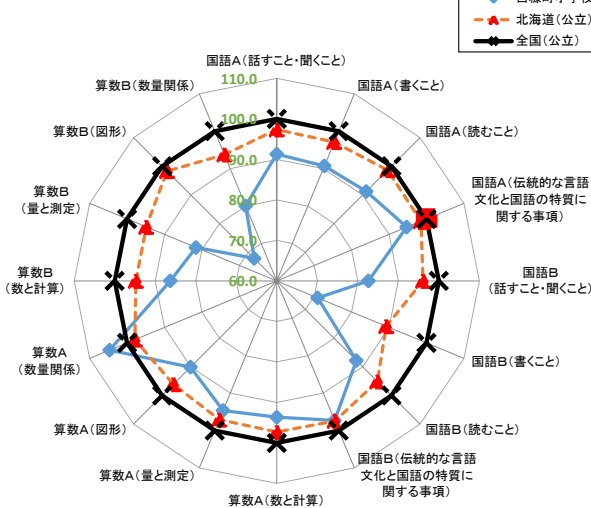


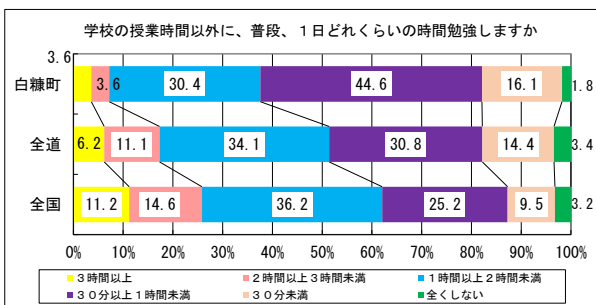
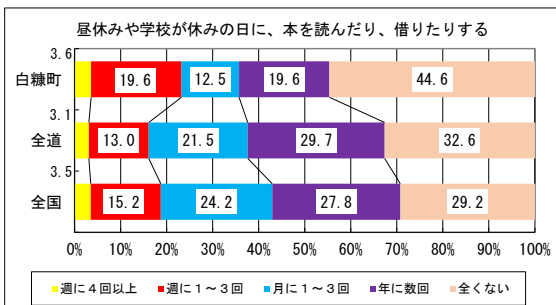
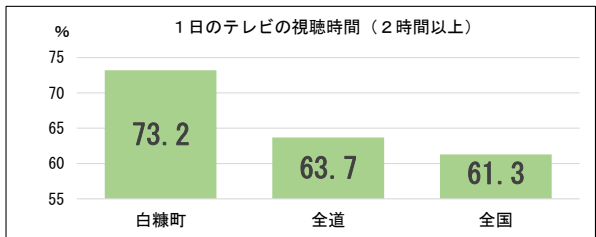
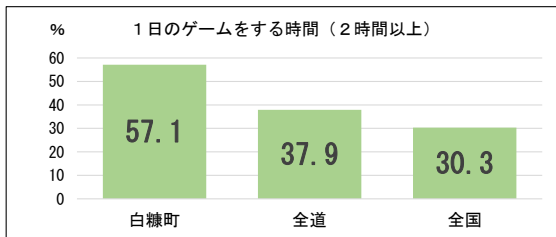
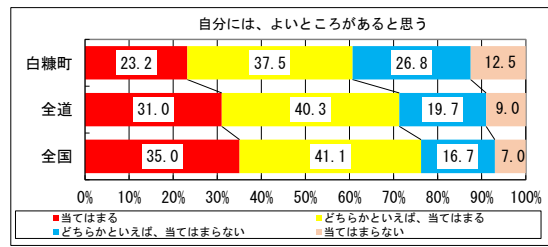
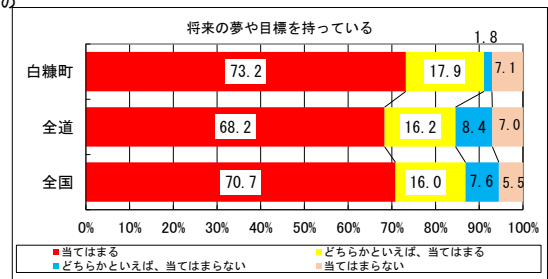
■ 白糠町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 3校、児童数: 56名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙】



【分析】

教科	○ A問題(基礎的問題)については全国とほぼ同じレベルか、それ以上の項目も見られる。しかし、B問題(応用的問題)については、全国との差が大きいことが分かる。基礎から応用への学習の転換が必要である。	○ この調査は、本年度の小学校6年生だけを対象としたもので、白糠町全体の状況ではない。また、町内6年生全体の平均であることから、学校によって差異がある。しかし、学習状況を見ると、課題も多く見られる。ゲームの使用やテレビの視聴時間、休みの日の学習時間の短さ、自分自身への自信の無さなど、家庭と協力して取り組まなければならないことがたくさんある。子どもたち一人ひとりにはそれぞれ「良さ」があり、学校と家庭でそれを認め、良さを伸ばす指導を心がけていく。
児童質問紙	○ 将来の夢や希望を持っている児童は、全国より多い傾向だが、自分自身に自信をもっていない子も多くなる。 ○ ゲームをする時間やテレビを見ている時間が非常に長い。	
学校質問紙	○ 児童は「熱意をもって勉強している」という質問に対し、すべての学校が「そのとおり」と回答している。	

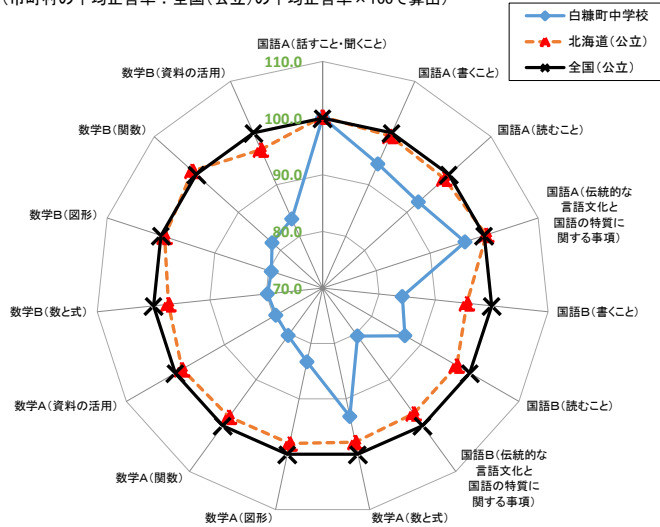
【白糠町の学力向上策】

- ◎ 町としては、学びの連続性と指導の継続性を確保するため、小中連携、一貫教育の推進
- ◎ 家庭と連携しながら、ゲーム使用やテレビ視聴時間についてなど、望ましい生活習慣の確立
- ◎ 学校では、基礎・基本を大切にしながらも、応用的な問題に対応できるための質の高い授業を推進
- ◎ 各種活動の場面を通して、子どもたちの自尊感情・自己肯定感を高める取り組みを大人全員で推進

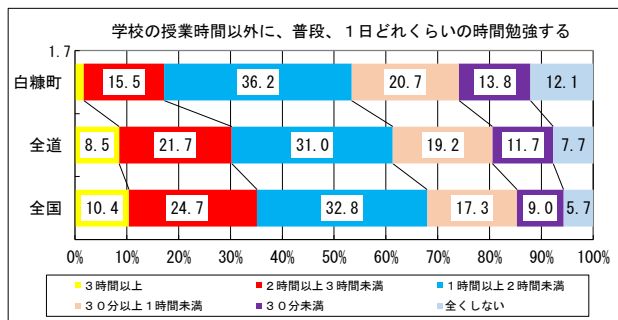
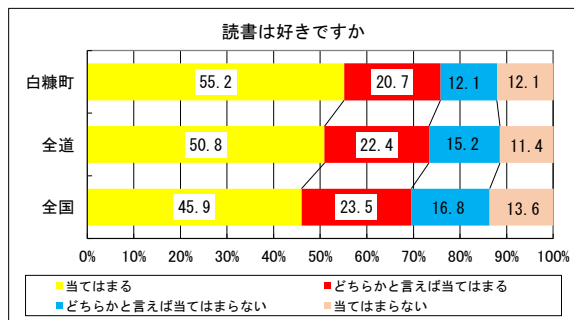
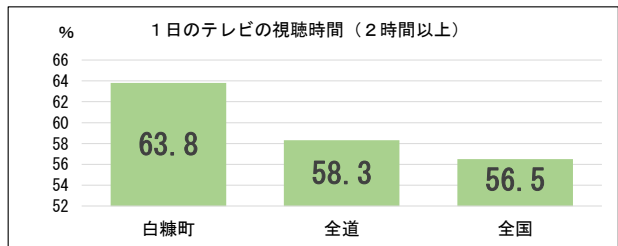
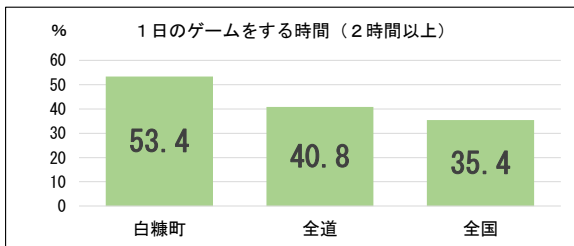
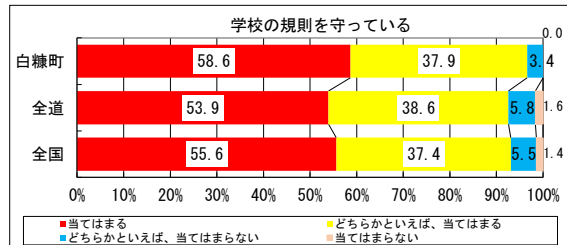
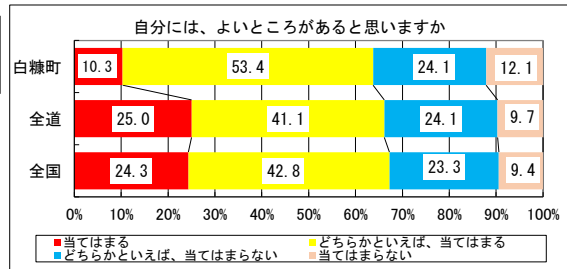
■ 白糠町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:58名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙】



【分析】

教科	○ 国語に関してはB問題に課題が見られる。数学に関しては(数と式)以外の部分で課題が多く表れている。特にB問題に課題があるが、数学は基礎の積み重ねが応用力につながるため、まず基礎・基本の力を徹底して高める必要がある。授業改善とともに、家庭での基礎学習の反復が必要である。	○ この調査は、本年度の中学校3年生だけを対象としたもので、白糠町全体の状況ではない。また、町内3年生全体の平均であることから、学校によって差異がある。しかし、学習状況を見ると、課題も多くみられる。ゲームの使用やテレビの視聴時間、休みの日の学習時間の短さ、自尊心の低さなど、家庭と協力して取り組まなければならないことがたくさんある。今後も授業改善を通して、「わかる授業」を目指し、家庭でも決まった時間にしっかりと学習する習慣を付けさせていくことが大切である。家庭での協力も必要不可欠であることから、共に学ぶ姿勢を養っていきたい。
生徒質問紙	○ ゲームやテレビを見る時間が長い傾向がある。視聴時間など、家庭内でしっかりと約束ごとを決める必要がある。 ○ 学校の決まりを守ったり、読書をする時間は全国平均を大きく上回っている。	
学校質問紙	○ 「生徒のよさや可能性を見付け、生徒に伝えるようにしている。」という質問に対し、すべての学校が「よく行った」と回答している。	

【白糠町の学力向上策】

- ◎ 町としては、学びの連続性と指導の継続性を確保するため、小中連携、一貫教育の推進
- ◎ 家庭と連携しながら、ゲーム使用やテレビ視聴時間についてなど、望ましい生活習慣の確立に向けた取組
- ◎ 一人でも進んで学習できるよう、家庭学習の習慣を定着
- ◎ 学校では、基礎・基本を大切にしながらも、応用的な問題に対応できるための質の高い授業を推進
- ◎ 各種活動の場面を通して、子どもたちの自尊感情・自己肯定感を高める取り組みを大人全員で推進